

**令和4年度  
第2回 燕市学校給食運営委員会資料**

**燕市教育委員会**



## 燕市学校給食運営委員会委員名簿

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

No.	氏 名	所 属 等	学校給食運営委員会規程 第3条第2項の区分	備考
1	小林 徹哉	燕東小学校 校長	1号委員	
2	佐藤 由栄	燕北小学校 校長	1号委員	
3	関 矢 洋	小中川小学校 校長	1号委員	
4	佐々木 一夫	粟生津小学校 校長	1号委員	
5	村澤 和夫	吉田北小学校 校長	1号委員	
6	木部 正実	島上小学校 校長	1号委員	
7	森田 雅弘	小池中学校 校長	1号委員	
8	新井田 義一	分水中学校 校長	1号委員	
9	霜 鳥 智也	燕南小学校 PTA 代表	2号委員	
10	佐藤 和貴	小池小学校 PTA 代表	2号委員	
11	三浦 圭子	大関小学校 PTA 代表	2号委員	
12	松原 徹	吉田小学校 PTA 代表	2号委員	
13	藤井 貴宏	分水北小学校 PTA 代表	2号委員	
14	小越 洋輔	分水小学校 PTA 代表	2号委員	
15	吉川 智恵	燕北中学校 PTA 代表	2号委員	
16	竹野 和仁	吉田中学校 PTA 代表	2号委員	
17	落合 智子	食物アレルギーに識見を有する者	3号委員	
18	小島 秀子	学 校 薬 剤 師	3号委員	

### 【事 務 局】

1	小林 靖直	燕市教育委員会	教育長
2	太田 和行	燕市教育委員会	教育次長
3	鈴木 華奈子	燕市教育委員会	教育委員会主幹
4	岡部 清美	燕市教育委員会	学校教育課長
5	大塚 小由紀	燕市教育委員会	学校教育課課長補佐
6	佐藤 朋子	燕市教育委員会	学校教育課副参事学校給食係長
7	小俣 翔子	燕市教育委員会	学校教育課学校給食係技師
8	澤口 聡子	燕市教育委員会	学校教育課学校給食係技師

### 【栄養教諭・委託事業者】

1	榎 聡子	大関小学校	栄養教諭（東部学校給食センター）
2	沖田 伸子	粟生津小学校	栄養教諭（西部学校給食センター）
3	小林 哉子	株式会社味彩燕	東部学校給食センター
4	栃原 千慧	株式会社メフォス	西部学校給食センター

## 1 学校給食に関する取組報告

### (1) 大河津分水通水 100 周年記念給食

令和4年8月25日(木)に大河津分水は通水100周年を迎えました。越後平野を守ってくれている大河津分水や大河津分水建設に向けて挑戦を続けた先人たちに感謝の気持ちを込めて、「大河津分水通水100周年記念給食」を10月25日(火)に市内全校に提供しました。

記念給食メニューは、長善館学習塾参加児童へ「燕市でとれる農産物で自慢したい食材」についてアンケートを実施し、回答の多かった食材(米、トマト、きゅうり、なす、枝豆など)をふんだんに使用したメニューとしました。



### (2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る対応

#### 給食中止に係る対応

保護者負担の軽減のため市で食材費相当額を補填し、保護者からは給食費をいただかない対応としています。

#### ア 臨時休業による学校給食中止回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回数	46回	5回	3回	12回	30回	54回	26回	46回	100回

※回数は、臨時休業で給食が中止となったクラスの延べ回数です。

#### イ 発注を取り消せなかった給食物資の取扱い

日持ちする給食物資は繰り越して後日使用する、フードバンク団体に寄付して福祉目的に活用する、給食がある学校に配食するなど、フードロスにならないよう対応しています。

### **(3) 物価高騰等に係る対応**

子育て世帯の負担軽減を図るため、国の臨時交付金を活用し、市が食材費高騰分として、児童生徒1人あたり年間約2,000円を補填しています。

### **(4) 非常変災等臨時休業に係る対応**

今年度、「燕市非常変災等臨時休業給食費補助金交付要綱」を制定し、小中学校が臨時休業措置を行った際は、保護者に給食費をいただかないよう対応しています。

### **(5) 食物アレルギーに関する取組**

#### **ア 食物アレルギー対応委員会**

市立幼稚園、市立保育園及び市立認定こども園の園児並びに市立小学校の児童及び市立中学校の生徒における食物アレルギーの対応を検討するため設置されています。第1回は、食物アレルギー対応の現状について事務局が報告し、それについて質疑応答や意見交換を行いました。

第1回 令和4年7月13日（水）開催

第2回 令和5年2月8日（水）開催予定

#### **イ 食物アレルギー研修会**

市内小中学校の教職員及び教育委員会関係者等を対象とした食物アレルギー研修会を開催しました。講師には、新潟県立吉田病院外来副看護師長小児アレルギーエデュケーターである、長谷川恵子様をお迎えし「学校での食物アレルギーの対応」というテーマで、食物アレルギーの基礎的知識、学校生活での注意点、緊急時の対応等を学びました。

開催日：令和4年11月16日（水）

参加者：小中学校の教職員41名（会場18名、オンライン23名）

#### **ウ 食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者との情報交換会**

安全安心な食物アレルギー対応をしていくため、食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者からお話をお聞きする場として、開催しました。

開催日：令和4年6月22日（水）

参加者：保護者2人

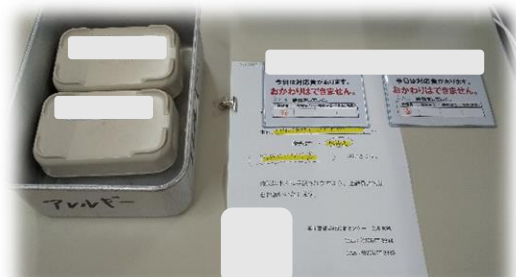
## エ 学校給食巡回指導の実施

学校給食に関わる衛生面の確認とあわせ、アレルギー対応の方法を確認しました。

アレルギー対応については、給食センターから届いた除去食・代替食の管理方法や、教室で児童生徒が給食を食べるまでの手順を確認しました。



例 1) 担当の職員が食物アレルギーをもつ児童に付き添い、代替食を確認している。



例 2) 職員室内にアレルギー代替食が保管されており、職員立会いのもと、取りに来た児童へ渡している。

## (6) 燕市西部学校給食センターが文部科学大臣表彰を受賞

令和4年度学校給食表彰において、燕市西部学校給食センターが「学校給食優良学校等（共同調理場）」として文部科学大臣表彰を受賞しました。全国では5場、県内では唯一の受賞であり、燕市においては初の栄誉となります。

地元企業と共同で開発した食器等の使用やふるさと教育、食育の取組等が評価され受賞につながりました。引き続き、児童生徒に安全安心な給食を提供するとともに、工夫を凝らした取組を推進し学校給食の充実に努めていきます。



## (7) 食育動画

昨年度に引き続き、今年度は、「衛生編」として、給食ができるまでの衛生管理について食育動画を作成しました。作成した動画は現在、燕市ホームページにて公開中です。また、各学校へ周知し、食育の教材としての活用を想定しています。

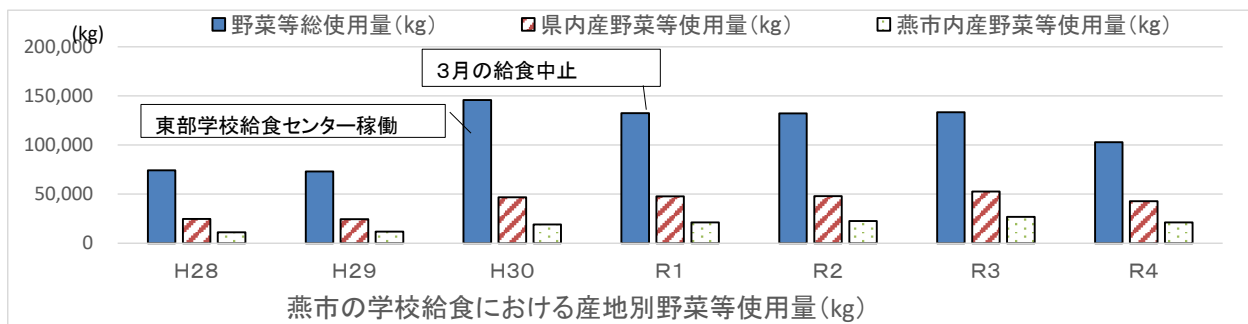


## 2 学校給食における地産地消の状況

〔産地別野菜等使用量〕

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 12月までの実績
野菜等総使用量(kg)	74,327	73,159	145,827	132,420	132,323	133,390	102,976
県内産野菜等使用量(kg)	24,875	24,484	46,887	47,731	48,103	52,719	42,762
燕市内産野菜等使用量(kg)	11,201	11,763	19,102	21,328	22,682	26,782	21,354

※市内産には、生産者から直接購入した農産物のほか、青果店が納入した燕市産の農産物を含む

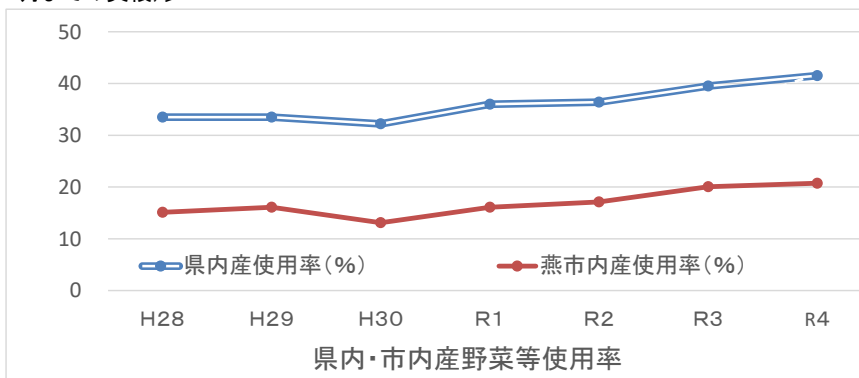


〔県内・市内産野菜等使用率〕

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 12月までの実績
県内産使用率(%)	33.5	33.5	32.2	36.0	36.4	39.5	41.5
燕市内産使用率(%)	15.1	16.1	13.1	16.1	17.1	20.1	20.7

〔協力生産者からの直接購入量(令和4年12月までの実績)〕

農産物名	購入量kg
玉ねぎ	3,098
大根	2,759
長ねぎ(葉ねぎ含)	2,324
じゃがいも	2,187
にんじん	1,127
さつまいも	960
小松菜	946
キャベツ	849
えだまめ	579
なし	565
きゅうり	500
白菜	478
さといも	396
なす	364
トマト	168
ズッキーニ	89
オータムボエム	68
とうがん	59
大豆	57
とう菜	49
春菊	11
むぎにんにく	2.3
計	17,635



給食センターでは、市内生産者からの地場農作物の直接購入による地産地消を推進しています。

地場農産物を取り入れた日は、児童生徒が地域の産物について理解を深め、地域への愛着と食べ物への感謝の気持ちを育むために、給食時の放送等で、生産者の名前を紹介しています。

今年度は、学校給食への理解を深めるとともに、よい農産物を納めようという意欲を高めていただけるよう、生産者をお招きした給食試食会を実施しました。



### 3 令和4年度 燕市学校給食喫食量調査

#### (1) 目的

児童生徒の学校給食における喫食状況を把握し、必要な栄養素が摂取できているかを確認する。また、調査結果を受け、献立や調理方法を検討することにより、学校給食を充実させる資料とする。

#### (2) 実施日

西部学校給食センター：令和4年11月14日（月）、15日（火）

東部学校給食センター：令和4年11月17日（木）、18日（金）

#### (3) 調査対象

小学3・4年生、中学2年生の全クラス（燕中等教育学校2年生を含む）

※学校給食栄養報告（週報）の対象学年に合わせ、毎年度同じ学年を対象に実施

#### (4) 調査献立

献立①	献立②
じゃことコーンのごはん	ごはん
里芋のみそ汁	車麩のたまごとじ
ささみチーズフライ	とろあじの照焼き
れんこんきんぴら	磯香和え
牛乳	牛乳

【参考：令和3年度の調査献立】

①ごはん、さばの塩麩焼き、五目きんぴら、ゆばと青菜のみそ汁、牛乳

②ごはん、子持ちししゃもフライ、磯香和え、マーボー大根、牛乳

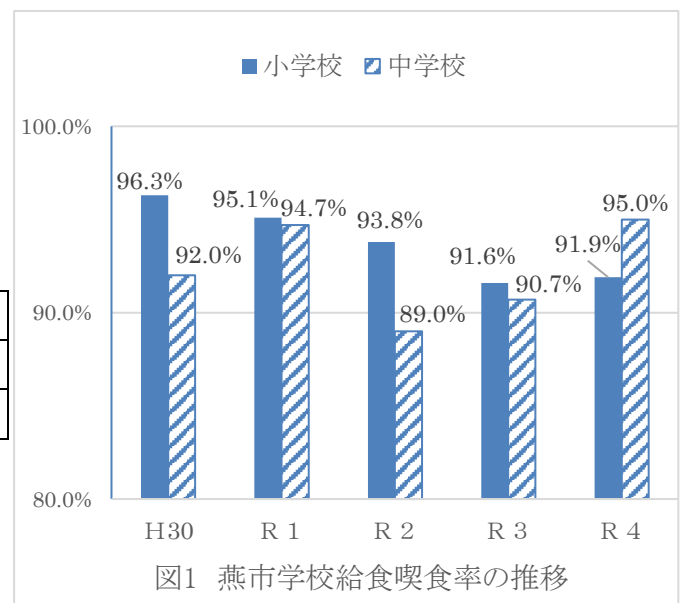
#### (5) 調査結果

##### ア 全体の喫食率

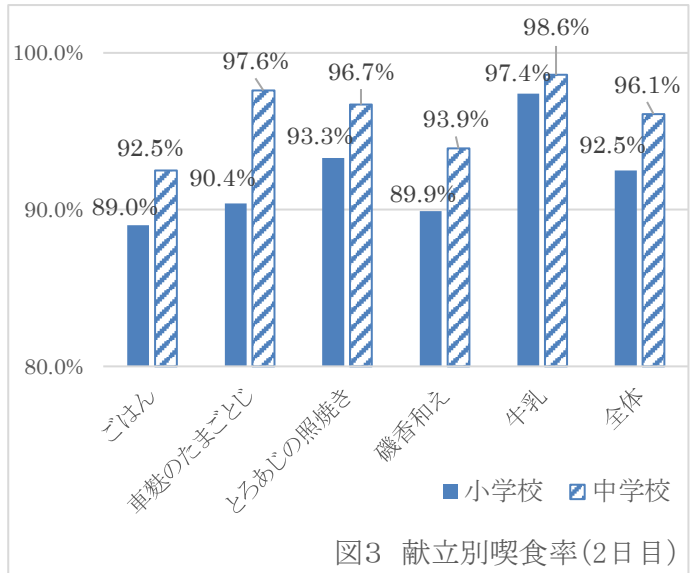
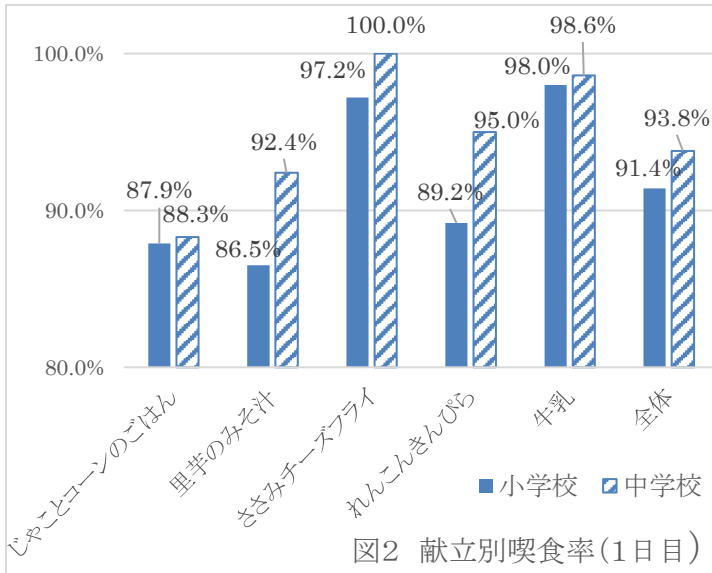
	献立①	献立②	2日間平均
小学校	91.4%	92.5%	91.9%
中学校	93.8%	96.1%	95.0%

##### 【過去5年間の平均喫食率の推移】

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
小学校	96.3%	95.1%	93.8%	91.6%	91.9%
中学校	92.0%	94.7%	89.0%	90.7%	95.0%



## イ 献立別喫食率



## (6) 摂取基準に対する栄養素摂取量

### ア 小学3・4年生

	(A) 摂取基準 <sup>※1</sup>	(B) 提供量 <sup>※2</sup>	(B÷A) 充足率 <sup>※3</sup>	(C) 摂取量 <sup>※2</sup>	(C÷B) 充足率 <sup>※4</sup>
エネルギー kcal	639	632	98.9%	578	91.5%
たんぱく質 g	26.4	30.6	115.9%	28.3	92.5%
脂質 g	17.8	18.7	105.1%	17.6	94.1%
カルシウム mg	350	337	96.3%	321	95.3%
鉄 mg	3.0	2.6	86.7%	2.3	88.5%
ビタミンA μg RE	205	268	131.0%	247	92.2%
ビタミンB1 mg	0.40	0.42	105.0%	0.38	90.5%
ビタミンB2 mg	0.50	0.55	110.0%	0.52	94.5%
ビタミンC mg	25	25	100.0%	23	92.0%
食物繊維 g	4.6	5.0	108.7%	4.5	90.0%

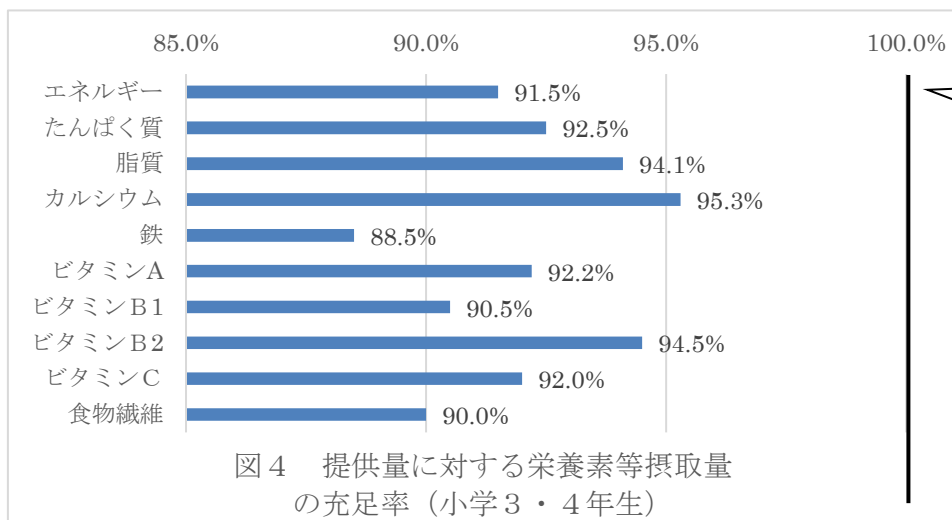
※1：R4年度燕市の栄養摂取基準

(設定根拠については3ページの「R4年度燕市の学校給食における栄養摂取基準の設定根拠」を参照)

※2：2日間の平均値

※3：摂取基準に対する提供量から算出

※4：提供量に対する摂取量から算出



提供量 (B) = 100%

イ 中学2年生

	(A) 摂取基準 <sup>※1</sup>	(B) 提供量 <sup>※2</sup>	(B÷A) 充足率 <sup>※3</sup>	(C) 摂取量 <sup>※2</sup>	(C÷B) 充足率 <sup>※4</sup>
エネルギー kcal	832	750	90.1%	707	94.3%
たんぱく質 g	34.3	35.7	104.1%	34.2	95.8%
脂肪 g	23.1	21.0	90.9%	20.4	97.1%
カルシウム mg	451	359	79.6%	349	97.2%
鉄 mg	4.5	3.2	71.1%	3.0	93.8%
ビタミンA μg RE	300	305	101.7%	293	96.1%
ビタミンB1 mg	0.50	0.48	96.0%	0.45	93.8%
ビタミンB2 mg	0.60	0.60	100.0%	0.58	96.7%
ビタミンC mg	35	30	85.7%	29	96.7%
食物繊維 g	7.0	5.8	82.9%	5.5	94.8%

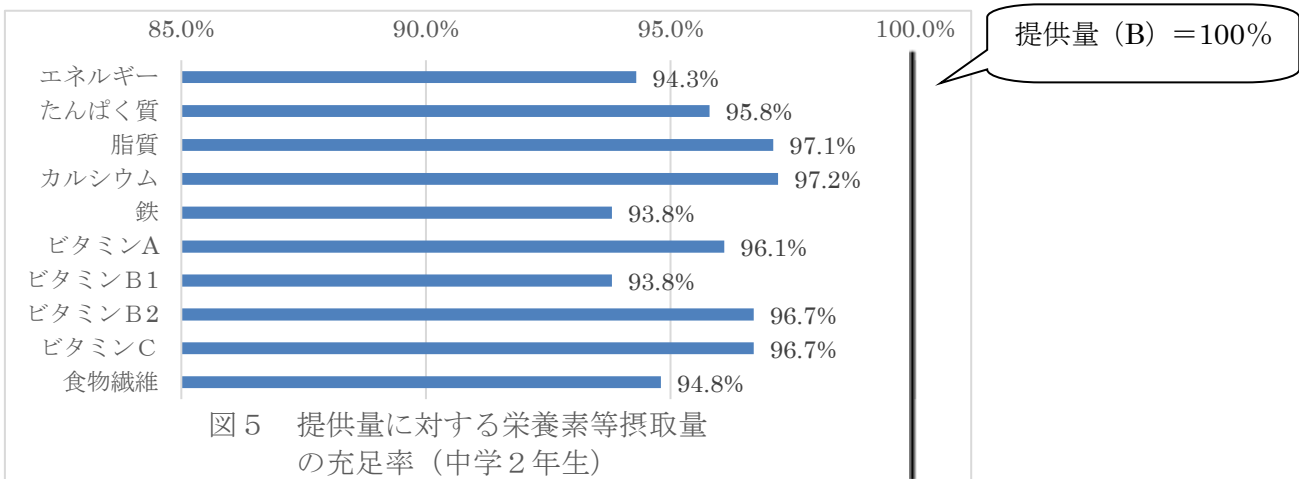
※1：R4年度燕市の栄養摂取基準

(設定根拠については3ページの「R4年度燕市の学校給食における栄養摂取基準の設定根拠」を参照)

※2：2日間の平均値

※3：摂取基準に対する提供量から算出

※4：提供量に対する摂取量から算出



【R4年度燕市の学校給食における栄養摂取基準の設定根拠<sup>※1</sup>】

エネルギー	燕市の児童生徒の身長をもとに算出した必要エネルギーの1/3
たんぱく質 (1g=4kcal)	摂取するエネルギーのうち、13~20%
脂質 (1g=9kcal)	摂取するエネルギーのうち、20~30%
カルシウム	燕市の児童生徒の人員構成をもとに推奨量 <sup>※2</sup> の50%以上を設定
鉄	燕市の児童生徒の人員構成をもとに小学生は推奨量 <sup>※2</sup> の40%、中学生は推奨量 <sup>※2</sup> の1/3以上を設定
ビタミンA、B1、B2	燕市の児童生徒の人員構成をもとに推奨量 <sup>※2</sup> の40%以上を設定
ビタミンC	燕市の児童生徒の人員構成をもとに推奨量 <sup>※2</sup> の1/3以上を設定
食物繊維	燕市の児童生徒の人員構成をもとに目標量 <sup>※3</sup> の40%以上を設定

※1：日本人の食事摂取基準2020年版を使用

※2：ほとんどの者(97~98%)が充足する一日の量

※3：現在の日本人が当面の目標とすべき一日の摂取量

## (7) 所見

### ア 献立について

献立は毎年度同じではないため、単純には比較できません。献立別では、小学校、中学校ともに牛乳や主菜の喫食率は高く、主食の喫食率が低い結果となりました。また、図2、図3から小学校では、中学校に比べ汁物や副菜の喫食率が低いことが分かります。汁物や副菜は、様々な野菜を中心とした献立を提供していることから、小学校では野菜が苦手な児童が多くいるのではないかと考えられるとともに、中学校に上がるまでに苦手な野菜を克服できる児童も多くいるのではないかと想定されます。

### イ 配膳について

今年度の学校給食巡回指導の際、盛り切りが実施されていたクラスも多くありましたが、食缶の半分ほどの量が盛られておらず、そのまま残食となってしまうクラスもみられました。給食センターでは、学年に合わせた量を配缶しており、盛り切ることで、児童生徒が自分に必要な食事の量を知ることができます。盛り残しがあった場合には、担任等が可能な限り盛り切るなどの対応が望まれます。

### ウ 栄養素摂取量について

図4、図5から小学校、中学校ともに鉄、ビタミンB1、食物繊維において提供量に対する摂取量の充足率が低い結果となりました。特に鉄の充足率が低く、その要因としては、主食の喫食率が低い結果であったことが考えられます。また、食物繊維やビタミンB1については、汁物や副菜を中心とした野菜の喫食率が低かったことが影響していると考えられます。

### エ 今後の取組

今回の調査結果から明らかになった課題を改善できるよう献立や調理方法の工夫を行い、児童生徒にとっておいしく、かつ栄養を満たせる給食を提供できるよう努めてまいります。また、児童生徒がさらに食に興味を持てるよう食育の推進について学校に働きかけ、喫食率の向上にもつなげてまいります。

# 4 令和5年度学校給食実施回数

日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	曜	東部	西部	曜	東部	西部	曜	東部	西部	曜	東部	西部	曜	東部	西部	曜	東部	西部	曜	東部	西部	曜	東部	西部
1	土			月		中華	土			火			日			水			金	月		木		金
2	日			火		中華	日			水			月			木			土	火		金		土
3	月			水			月			木			火			金			日	水		土		日
4	火			木			火			金			水			土			月	木		日		月
5	水			金			水			土			木			日			火	金		月		火
6	木			土			木			日			金			月			水	土		火		水
7	金			日			金			月			土			火			木	日		水		木
8	土			月			土			火			日			水			金	月		木		金
9	日			火			日			水			月			木			土	火		金		土
10	月			水			月			木			火			金			日	水		土		日
11	火			木			火			金			水			土			月	木		日		月
12	水			金			水			土			木			日			火	金		月		火
13	木			土			木			日			金			月			水	土		火		水
14	金			日			金			月			土			火			木	日		水		木
15	土			月			土			火			日			水			金	月		木		金
16	日			火			日			水			月			木			土	火		金		土
17	月			水			月			木			火			金			日	水		土		日
18	火			木			火			土			水			日			月	木		日		月
19	水			金			水			日			木			月			火	金		月		火
20	木			土			木			月			金			火			水	土		火		水
21	金			日			金			火			土			水			木	日		水		木
22	土			月			土			日			日			木			金	月		木		金
23	日			火			日			月			月			火			土	火		金		土
24	月			水			月			火			火			水			日	水		土		日
25	火			木			火			土			水			日			月	木		日		月
26	水			金			水			日			木			月			火	金		月		火
27	木			土			木			月			火			火			水	土		火		水
28	金			日			金			火			土			日			木	日		水		木
29	土			月			土			水			日			月			金	月		木		金
30	日			火			日			木			月			火			土	火		木		土
31	月			水			月			火			火			水			日	水		木		日
稼働日数	16	20	22	14	6	20	20	21	20	16	17	19	14	205										